

県政の動き

10月20日(土)～12月20日(木)

★は写真入りで紹介

10月23日(火)

原子力防災訓練

10月25日(木)

★ねりんピック鹿児島2008
カウントダウンボード点灯式

10月27日(土)～28日(日)

ねりんフェスタ鹿児島・インドルフインポート

10月29日(月)～11月1日(木)

★分野別知事と語る会

10月31日(水)

再チャレンジ地方セミナー in 鹿児島

11月1日(木)～30日(金)

オレンジリボン・キャンペーン

11月2日(金)

★平成19年度県民表彰

11月8日(木)～11日(日)

★全国伝統的工芸品フェスタ in かもしま

11月9日(金)

共生・協働型地域コミュニティのあり方に
関する講演会

11月11日(日)

★地方財政危機突破！鹿児島県総決起大会

11月13日(火)

★「世話やきキュービッド」研修会及び委嘱式

11月17日(土)

県立農業大学校創立30周年記念大会

11月17日(土)

島原・天草・長島架橋構想及び
九州西岸軸構想推進地方大会

11月17日(土)～20日(火)

「21世紀東アジア青少年大交流計画」に基づく
中国高校生訪日団受け入れ

11月20日(火)

★かもしまPR展(パリ)

12月16日(日)

かもしまがん征圧県民大会

かもしまがん征圧県民大会

10月25日(木)

ねりんピック鹿児島2008 カウントダウンボード点灯式

高齢者を中心としたスポーツ、文化、健康と福祉の全国規模の祭典「ねりんピック鹿児島2008」の開催まであと1年となった10月25日、県庁において、唐湊幼稚園の園児の協力も得て点灯式を行った。

「ねりんピック」の開催を契機に、高齢者を中心とする県民の健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚を図るとともに、「本物。鹿児島県」の魅力を全国に発信する大会となるよう準備を進めている。



10月29日(月)～11月1日(木)

分野別知事と語る会

「農林水産業」、「医療・福祉」、「環境・景観」、「社会資本整備」、「教育・文化」の5つの分野で活躍されている方々が集っていただき、今後の県政について知事と率直な意見交換を行う「分野別知事と語る会」が、4日間にわたり県庁講堂で開催された。各会では、出席者から、日頃の活動を通して得られたさまざまな提言があり、多くの方々が傍聴する中、知事と熱心に意見交換した。



の活動を通して得られたさまざまな提言があり、多くの方々が傍聴する中、知事と熱心に意見交換した。

11月2日(金)

平成19年度県民表彰

県では、県民の福祉に貢献し、特に顕著な功績を挙げられた個人や団体を「県民表彰」として表彰している。本年度は6人1団体の方々を表彰した。



前列左から、永野さん、松澤さん、上妻さん、大勝さん、伊藤知事、有留さん、和田さん、鹿児島県青年海外協力隊を支援する会の井上さん

《地方自治部門》

有留 忠男さん(元 輝北町長)

輝北町長として、4期13年8月にわたり、基幹産業である農畜産業の振興や住民福祉の充実を図るなど、地域社会の発展に尽力されるとともに、鹿児島県町村会会長等の要職を歴任されるなど本県地方自治の伸展に大きく貢献された。

《教育文化スポーツ部門》

松澤 隆司さん(鹿児島県サッカー協会副会長)

鹿児島実業高等学校サッカー部監督として同校を3度の全国優勝に導いたほか、県サッカー協会副会長として、サッカーの普及と指導育成に努められ本県のスポーツ振興と青少年の健全育成に大きく貢献された。

《保健福祉部門》

大勝 洋祐さん(元 鹿児島県医師会副会長)

長年にわたり医療活動に従事されるとともに、リハビリテーション施設の充実や水保病の被害者救済に尽力されたほか、県医師会副会長等の要職を歴任されるなど、本県の保健医療の向上に大きく貢献された。

《産業経済部門》

和田 貞則さん(元 鹿屋商工会議所会頭)

鹿屋商工会議所会頭や県商工会議所連合会副会長として、商工業の活性化に尽力されるとともに、住みよい街づくりや観光を中心とした地域振興に取り組み、大隅半島はもとより本県の産業経済の発展に大きく貢献された。

上妻 宗正さん(元 鹿児島県たばこ耕作組合組合長)

県たばこ耕作組合組合長や全国たばこ耕作組合中央会会長として、長年にわたり、本県はもとより全国の葉たばこ農家の経営安定と所得向上のために尽力され、本県の産業発展に大きく貢献された。

《社会活動部門》

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会

(青年海外協力隊への支援を通じた国際協力への理解促進活動)
県出身の青年海外協力隊の活動やその留守家族を支援するとともに、協力隊員の活動や国際文化、国際協力への理解促進に努められるなど、その活動は本県の国際交流を推進する取り組みとして高く評価されている。

《くらし・環境部門》

永野 萌子さん(環境省希少野生動物植物種保存推進員)

希少野生動物植物種に指定されているベッコウトンボの保護に努められるとともに、自然観察会や環境学習講座などを通して、本県の環境教育や自然保護活動の推進に大きく貢献された。

11月8日(木)～11日(日)

全国伝統的工芸品 フェスティバルがごしま

鹿児島市の鹿児島アリーナにおいて、全国および本県の伝統的工芸品を一箇所に集めた「全国伝統的工芸品フェスティバルがごしま」を開催した。初日には、高円宮妃殿下が会場を視察され、製作体験に取り組んでいる児童に話しかけたりと興味深く見学された。



期間中、10万人を超える来場者があり、製作体験、実演などを通して、伝統的工芸品への関心と理解を高める機会となった。併せて、本県の食の特産品の販売、観光・篤姫紹介なども行い、本県の魅力を県内外にPRするフェスタとなった。

11月11日(日)

地方財政危機突破！ 鹿児島県総決起大会

知事をはじめとする県内地方6団体の長で構成する鹿児島県地方自治推進代表者会議の主催による「地方財政危機突破！鹿児島県総決起大会」が黎明館で開催された。

大会では、最近の地方税財政や道路特定財源などをめぐる動きについて意見交換した後、「地方交付税の復元及び税財源の拡充強化並びに道路整備の財源確保に関する決議」を満場一致で採択した。この決議については、大会翌日以降、国など関係者に対して要請を行った。

当日は、県選出国會議員をはじめ、各関係団体の方々や県議會議員、市町村長、市町村議會議長など約240人が参加した。



11月13日(火)

「世話やきキュービッド」 研修会及び委嘱式

本県の新たな少子化対策の一環として、結婚を望む独身男女の縁結びをボランティアで応援する「世話やきキュービッド」の委嘱式が県庁講堂で開催された。



当日は、鹿屋体育大学体育学部萩裕美子教授の「世話やきキュービッドにエールを送る」と題した講演の後、NPO法人鹿児島県地域女性団体連絡協議会（地域女性連）から推薦された222人に委嘱状が交付された。

委嘱式の最後に、キュービッドを代表して、地域女性連会長の湯丸ミヨさんが、今後の活動にかける意気込みを語った。



11月20日(火)

かごしまPR展(パリ)

「薩摩焼パリ伝統美展」のオープニングに併せて、同展覧会の会場であるパリのセーブル美術館において、本県の特産品などを紹介する「かごしまPR展」が開催された。



「かごしまPR展」では焼酎、お茶、郷土菓子などの試飲・試食や大島紬をはじめとする伝統的工芸品などの展示が行われ、多くのフランスの方々が集まり、「かごしま」の魅力が大いに体感した。

